



## 脱炭素社会に向けた選択肢としての太陽光 P P A

---

**NEXT FUTURE**

次の未来、はじまる。

**ENERGIA** CHANGE 2030

- パリ協定発効 世界的な脱炭素化への動きが加速
- 「2050カーボンニュートラル」を目指した取組みの推進
- FIT買取価格の低下, 設備価格の低下



CO<sub>2</sub>排出量・一次エネルギー量削減のため,  
再生可能エネルギーの導入検討が増加

## 太陽光PPAサービスとは

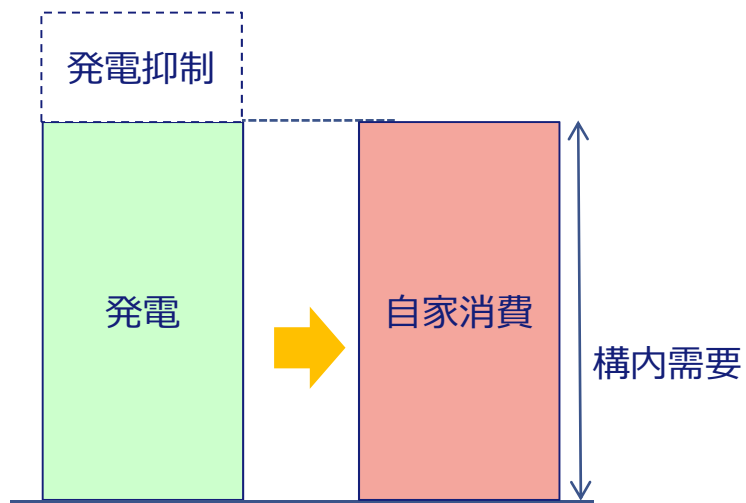
- お客様の建物や敷地に事業者が太陽光発電設備を設置します
- 発電設備の設置・保有・メンテナンスに係る対応を事業者が行います
- お客様は発電設備費を負担することなく、太陽光発電の電力を自家消費できます



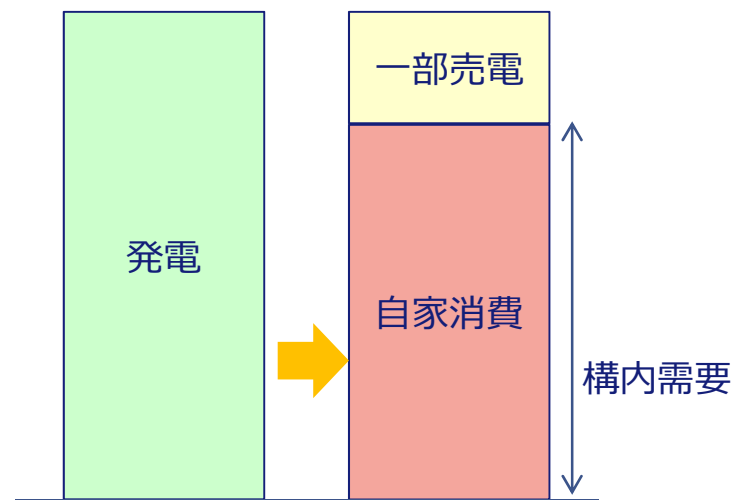
〔イメージ〕中国電力 宇部太陽光発電所（メガソーラー）

- 太陽光発電で創った電力を、売電せず発電者自身で消費することを指します。
- F I T にもとづいた事業計画の認定申請や連系に必要な費用が発生しません。

自家消費モデル

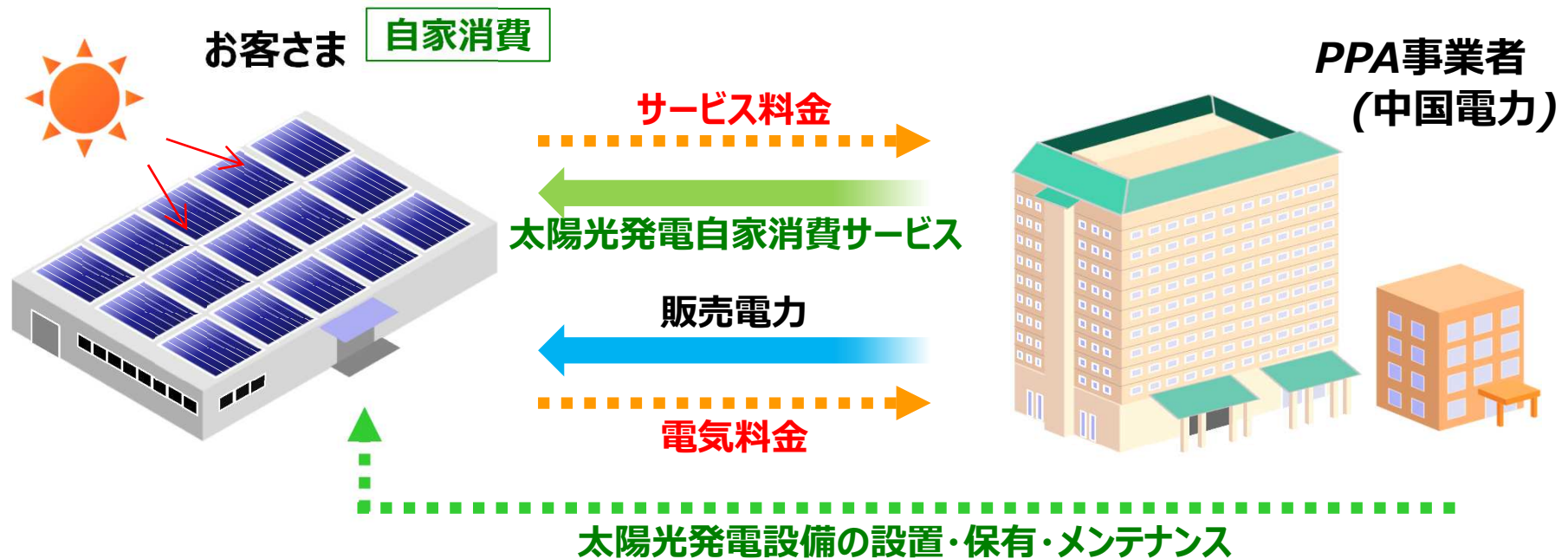


FITを活用したモデル



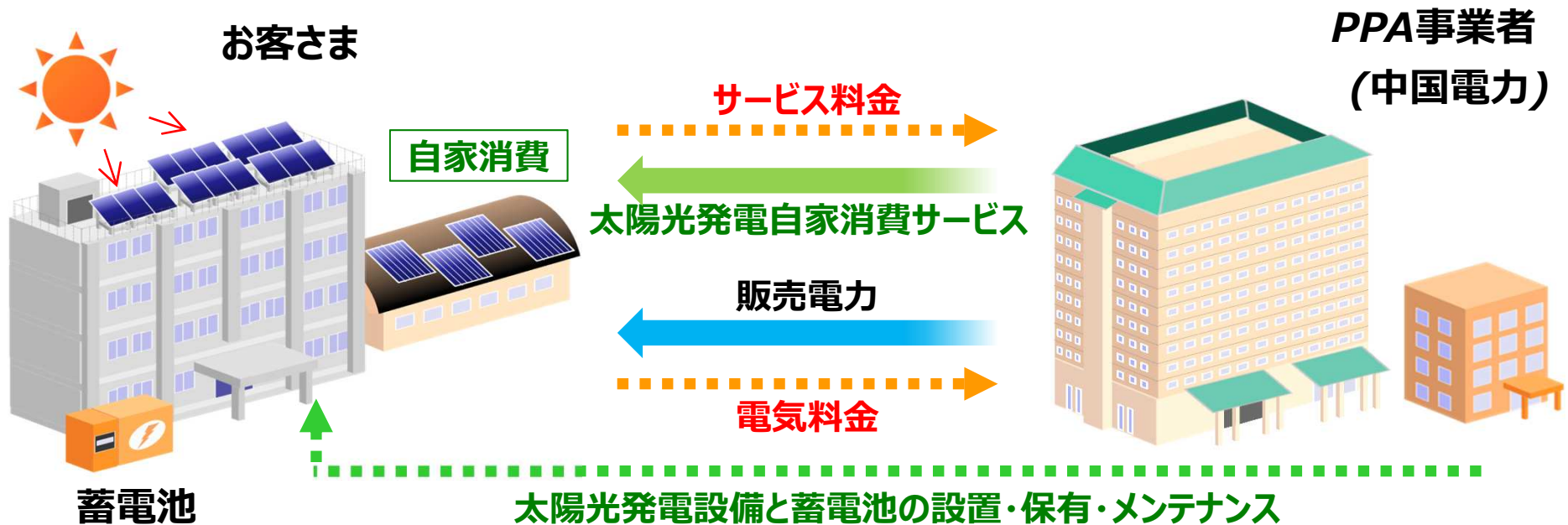
## 中国電力の太陽光PPAサービス

- お客様の建物や敷地に太陽光発電設備を設置する、基本的なタイプです。



## 太陽光発電 + 蓄電池PPAサービス (通称 : レジリエンスサービス)

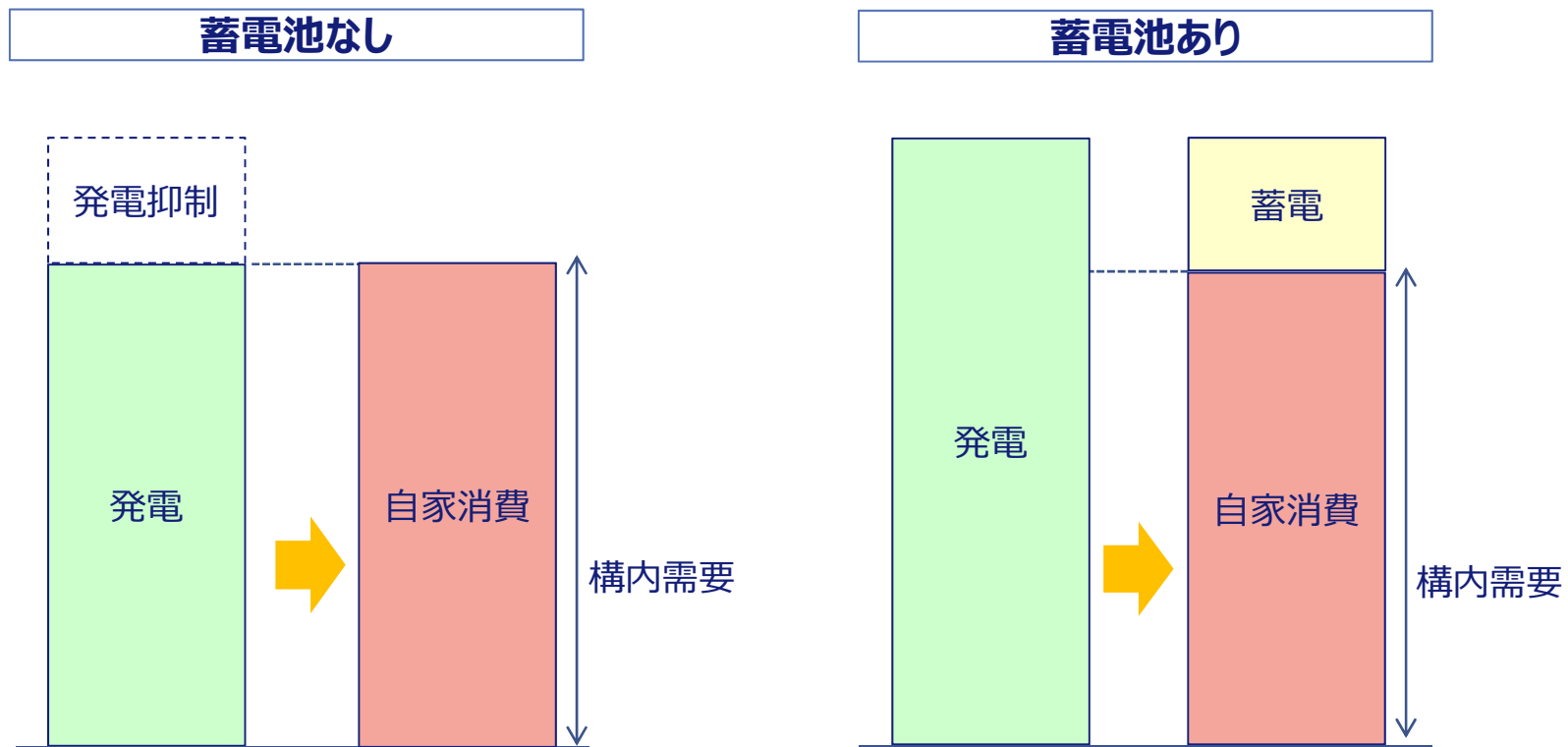
- 蓄電池併設型。
- 蓄電池に貯めた電力も活用でき、BCP対策性能が向上するとともに、太陽光発電の能力を最大限使用することができます。





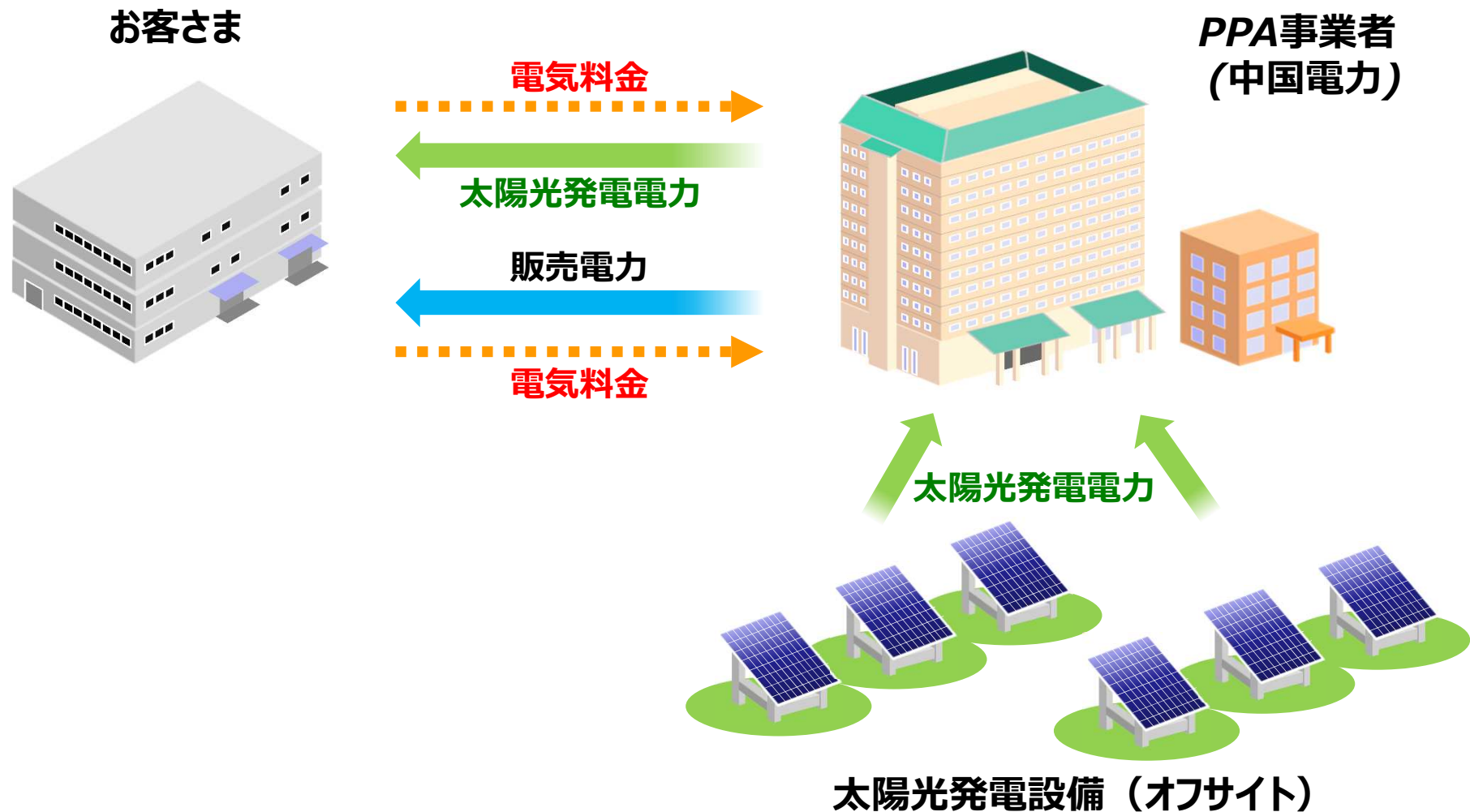
## 蓄電池を設置した場合のイメージ

- 自家消費量を超過した発電量を蓄電し，災害時などに活用できます。



## 太陽光発電PPAサービス（オフサイト型）

- FIT制度を活用せず，遠隔地から太陽光発電の電気をお届けするサービスです。



## メリット①「コストの長期固定・フラット化」

比較項目	PPA	自己設置	リース
初期投資負担	建設費不要 (サービス料が毎月発生)	初期投資が必要	不要 (リース料が毎月発生)
コスト上昇リスク	契約期間内固定 (サービス料金単価)	メンテナンス費上昇 リスクあり	メンテナンス費上昇 リスクあり
故障対応	突発修繕費のお客さま負担なし (PPA事業者が負担)	都度のお客さまによる対応が必要 (工事発注, 費用負担)	都度のお客さまによる対応が必要 (工事発注, 費用負担)

### メリット②「設備の性能維持」

比較項目	PPA	自己設置	リース
維持管理	PPA事業者が実施 日常点検を除く、計画保全・トラブル対応等（修繕・交換部品を含む）を実施	お客さまが実施 お客さま、またはお客さまが直接委託したメンテナンス業者により対応。	お客さまが実施 お客さま、またはお客さまが直接委託したメンテナンス業者により対応。
性能維持	PPA事業者が実施 適切な計画保全を実施	お客さまが実施	お客さまが実施

### メリット③「発電データの収集・活用」

比較項目	PPA	自己設置	リース
収集・活用	「見える化」を実現 発電状況を定期的に報告し、発電設備の故障を早期に発見（オプションで追加可能）	お客さまが実施	お客さまが実施

## 環境価値の帰属について

- ▶ 太陽光PPAは原則として、下記のとおり法制度に対応します。

区分	初期投資	法制度対応※		
		省エネ法	温対法	RE100
太陽光発電PPA (オンサイト型)	無	○	○	○
太陽光発電 + 蓄電池PPA (通称：レジリエンスサービス)	無	○	○	○
太陽光発電PPA (オフサイト型)	無	△	○	○
【参考】 オンサイト型太陽光発電 (自社投資)	有	○	○	○

※実際のご検討時には、法令ごとに定められた要件を個別にご確認ください。

ご清聴ありがとうございました